Hop



| 学年通信 No.2| 令和4年2月|0日(木) 学年チーフ 藤松 繁和 文責 安松 裕子

楽しく学んだSST

2月8日(火)学活の時間に、今の1年生の課題として挙げられていた「意思表示をきちんとする」 ということに関して、次のことを目的にソーシャルスキルトレーニング(SST)を行いました。

- ①一人一役の役割を担い班員と交流することで、自己の考えを他者に説明する力を 身に付けたり、他者と協働して課題を解決する楽しさを実感する。
- ②課題解決をするにあたって、他者の良さを認めたり他者から認められたりすることで、自己有用感を高める。
- ③他者との対話活動を通して、相手のことを慮る力を高める。

ビルのテナントを探せ

【課題】

○△ビルには、20 のテナント(お店など)が入っています。どの部屋に、どのテナントが入っているでしょうか?これから配るカードをもとに、グループみんなで話し合ってビルの案内図を完成させてください。

【約束】

カードに書かれていることは、言葉で正しく伝えてください。カードは他の人に見せたり、取り替えたりしてはいけません。自分のカードの情報は全て言葉で伝えてください。

この約束のもと、各班一斉に取り組み、一生懸命説明し始めました。自分の持っている情報を伝えるだけでなく、みんなの情報をいかに組み合わせると案内図が完成するのかを、全員で考えていました。自分の言葉だけで伝えるということがとても難しかったようで、あちこちから「あー、違う!」「わからん!」「できた!」などの声も聞こえました。また、25分の制限時間内に完成させることができた班は少なく、「もう少し!」「あと | 分!」という声が上がり、みんなの一生懸命さ、楽しく活動していることが伝わってきました。

右に活動をしてのふり返りを紹介します。

<どのような行動がグループのためになりましたか?>

- ・意見を出し合うところがグループのためになった。
- ・みんなの意見をまとめて班長をサポートできた。
- ・関係のある情報を共有してまとめることができた。
- ・意見を出し合うところと, 班員に積極的に話す力が高まった。
- ・時間を気にして行動するようになった。
- ・みんなの意見をまとめて書いた人や, 意見をどんどん言う人の重要さに気付きました。
- ・一人一人が発言できるように、話すときにはきちんと聞くという 雰囲気。
- ・メモなどを積極的に取るなどして,情報をできるだけ整理できる ように頑張りました。
- ・一人一人の内容を最後まで聞いて、自分の意見を伝えること。
- ・ミスに気付き、自分から発信すること。
- ・意見を紙に書くことで、どこにあるのか分かった。全て正解では なかったけれど、仲を深められてよかったです。
- ・自分の意見をどう伝えれば分かりやすいかなどを考えながら言ったり, みんなの意見をまとめたりしながら協力できました。
- ・自分の意見を言うだけでなく,人の意見を聞いて簡潔にまとめる こと。
- ・自分が持っている情報をわかりやすく班員に伝えること。
- ・みんなの意見をまとめたり、自分から意見を出したりしたこと。
- ・紙にメモして、情報を整理したこと。
- ・班の人を促して話を聴こうとしたこと。班の人がみんなに分かる よう何度も話してくれたこと。
- ・重要だと思うワードを班員にちゃんと伝えることができた。
- ・みんなで協力して助け合うなど, コミュニケーションもしっかり とれたので, いい機会になりました。
- ・自分の書いてあることを言えた。
- ・一人が言ったことを関連づけて意見を出し合えたこと。











今回の活動では、みんなが必ず話さなければならない状況の中で、 しっかりと話すことができていました。自分が話したことで話し合い がぐっと進んだり、話をしている人のことをしっかり聞こうとしたり する姿がたくさん見られました。一番の成果は、どの班・クラスも楽 しく活動していたことです。最初に掲げた3つの目的を達成すること ができました。



今よりもさらに楽しい学校生活が送れるように,日頃の授業や友達 との会話の中でも,今回の活動を通して学んだことが生かしていきま しょう。